慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	刊行の辞
Sub Title	
Author	豊泉, 貫太郎(Toyoizumi, Kantaro)
Publisher	慶應義塾大学大学院法務研究科
Publication year	2008
Jtitle	慶應法学 (Keio law journal). No.11 (2008. 12) ,p.i-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	慶應義塾創立150年記念号上巻
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA1203413X-20081225--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

刊行の辞

本書は慶應義塾大学大学院法務研究科（法科大学院）が慶應義塾創立150年を記念して出版する論文集である。執筆者は現在の教員に止まらず開校以来教鞭をとられた方も含まれている。短期間にも拘らず上下２巻約700頁に及ぶ大著を出せたことは、法務研究科の実力を示すものといえ誇りを禁じえない。

ところで法務研究科は開校５年未満の教育機関である。それが慶應義塾創立150年を記念し出版するのは、塾全体の永い輝かしい歴史に肖ろうというのではない。塾は開設当初から法学を一つの柱としており、従来は法学部が伝統の確立に努力されたのであるが、これからは法務研究科も三田法学の確立、充実を法学部と並んで、時には競って為さんとする決意を内外に示さんとする意図からであるといえよう。今後更に実績を重ね、塾200年記念の際には法務研究科が三田法学の一つの柱となっていることを秘かに祈念して刊行の辞とする。

2008年12月

法務研究科委員長
豊泉貫太郎